



“人が役を創り、役が人を創る“

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 伊藤 靖祐（江南 RC）

ロータリー財団地域コーディネーター（以下 RRFC）は地区やクラブのロータリー財団活動をサポートする役割を担っています。また、地区ガバナー、ガバナーエレクトを対象とした数々の Learning Seminar を担当し、補助金の活用支援、寄付の推進やリソースの開発をしていきます。第1～3地域の RRFC は大変仲が良く連携が取れており、日本の目標を設定しています。会員一人当たり年次基金150ドル、ポリオプラス30ドル、また年次基金への寄付ゼロのクラブをゼロとする目標を立て、第2地域では能登半島地震時を除き、その目標はすべて達成しており、第2地域の全てのロータリー会員の皆様に感謝です。第2610地区の全てのクラブにおかれましては震災後の2025-26年度には年次基金の目標も達成されており、尊い寄付活動に敬意を表するばかりです。RI から第2地域の年次基金寄付ゼロクラブゼロは高く評価されています。



今後の財団活動に関する戦略として、RRFC はロータリー財団地域セミナー、クラブ活性化セミナーで提案させていただいております通り、①DDF の有効活用 ②恒久基金の戦略的運用を掲げています。①については、5年を超えて未使用である DDF は、ロータリー財団の World Fund へ自動的に組み入れられてしまいますので、各地区での戦略を立てて有効活用する必要があります。②については、恒久基金—シェアへの寄付は、計画的に積み立てていけばその運用益は毎年地区に分配されるので大きな運用財産となります。ロータリー財団(TRF)における恒久基金の運用利回りは年率7%を超えていますので、恒久基金を各地区の Mather Fund と捉えやはり地区の戦略が求められます。

最後になりましたが、本年6月末を以って第2地域 RRFC の3年の任期を全うすることができます。ロータリー財団地域セミナー、ロータリー研究会、クラブ活性化セミナー、ガバナーエレクト・ラーニングセミナー等で皆様と出会い、多くの経験をさせていただき、私もラーニングさせていただきました。すべての方との出会いと機会に感謝です。「人が役を創り、役が人を創る」という言葉があります。組織における責任と個人の成長の本質を突いた深い洞察だと思います。組織の中で人は役を創るわけですが、その役に新しい価値や独自のスタイルを取り込むことで役の主体性や革新性を織り込んでいきます。そして創られた役に就くことでその人は否応なしに変容を迫られ、結果として視座の変化と人の器が押し広げられていきます。たとえ最初は役という形を演じることから始まったとしても、その責務を果たそうと日々研鑽を積むうちに、いつしかその振る舞いが本質に変わっていきます。ロータリーはまさに「人が役を創り、役が人を創る」組織です。出会った全ての人に感謝し、この言葉で締めくくらせていただきます。ありがとうございました。